

## 心が通う便利で豊かな田舎暮らし

舞鶴市は、令和元年度「SDGs未来都市」の30自治体、さらに「舞鶴版Society5.0実装推進事業」が「SDGsモデル事業」に選定されました。新たな価値創造によってまちの持続可能性を高める「舞鶴版Society5.0」を推進し、AIなどの先進技術の導入で日常生活の利便性を高め、都市機能の効率的利用を図ることで、人と人とのつながりを強化。社会的弱者等の社会参画も進め、未来型の便利な田舎暮らしを実現させるものです。

### 舞鶴版 Society5.0 for SDGs

ITスキルをもった若者の育成  
若者がチャレンジできるまち



若者チャレンジ



「共生」によるお互い様の社会  
[meemo]による地域交通の確立



共生



キャッシュレス



完全キャッシュレス社会の実現  
観光客が気軽に買い物  
市民が公共料金などをキャッシュレス  
決済で便利に

### 舞鶴市 スマートシティ構想



再エネで地域内経済循環  
スマート・エコ・エネルギーポート化計画  
Re100宣言  
再生エネルギーの地産地消

モニタリング



AI+ビッグデータによる  
まち全体の見守り  
自然災害の発生検知  
スマート農業の推進

### 目指す未来のために

- **共助による移動手段 (meemo) 導入に係る実証実験**  
全国初の公共交通+住民同士の送迎を組み合わせた地域共生型MaaSの導入に向けた実証実験を実施。
- **赤れんがコワーケーション推進事業**  
コワーキングスペースを新たなビジネスの交流拠点として活用するため、企業と市民の交流、小学生対象のプログラミング教室などを実施。
- **「テレワーク in MAIZURU」関係人口の創出と拡大**  
新型コロナウイルス感染症によってテレワークが推進されるなか、首都圏の企業のテレワーク誘致の推進。
- **シティブランディング戦略**  
市民と共に「まちの魅力・誇り」を掘り起こし、シビックプライドの向上と住民到達度100%の広報を目指す。
- **持続可能なまちづくりの普及・展開**  
市民、団体、企業、大学などと連携し、「健康づくり」をテーマに共生社会における持続可能なまちづくりに向けた実証実験などを実施。
- **不登校児童・生徒への支援**  
小学生によるまちを元気にするプロジェクト  
不登校児童・生徒への対応と、京都府認定フリースクールへの支援。  
小学6年生が、舞鶴の良さを発信することができる新たな商品の企画・開発・販売を通じた起業体験によるキャリア教育に取り組む。

### 【連絡先】

舞鶴市役所 企画政策課  
電話番号：0773-66-1042

メールアドレス：plan@city.maizuru.lg.jp